

ベンチマーク制度の今後の進め方について

平成 29 年 2 月

資源エネルギー庁 省エネルギー課

省エネ法における問題意識

- エネルギー消費原単位を**年平均1%以上低減することが困難**となっている。
- 既に相当程度省エネ取組を進めてきた優良事業者が**1%未達により適正に評価されない**。

新しい評価指標としてベンチマーク制度を検討開始

平成20年：ベンチマーク制度検討スタート

ベンチマーク制度とは、事業者の省エネ状況を**業種共通の指標を用いて評価**するもので、各事業者が**目標（目指すべき水準）**の達成を目指し、省エネ取組するもの。

平成21年：ベンチマーク制度を検討する研究会

平成21年～平成22年：産業部門

ベンチマーク制度導入

<業務部門において導入検討を開始した業種>
エネルギー消費量、密度が大きいことから**6業種**を選定。
①コンビニエンスストア ②ホテル ③百貨店
④貸事務所 ⑤スーパー ⑥ショッピングセンター

<産業部門：6業種10分野>

- ①高炉による製鉄業
- ②電炉による普通鋼製造業
- ③電炉による特殊鋼製造業
- ④電力供給業
- ⑤セメント製造業
- ⑥洋紙製造業
- ⑦板紙製造業
- ⑧石油精製業
- ⑨石油化学系基礎製品製造業
- ⑩ソーダ工業

平成26年：業務部門における省エネ取組の評価制度に関する研究会において業務部門のベンチマーク制度を本格的に検討開始

平成27年8月：省エネルギー小委員会取りまとめにおいて「業務部門におけるベンチマーク制度の創設」を検討すべき

平成27年11月：**安倍総理から業務部門へベンチマーク対象業種の拡大指示**

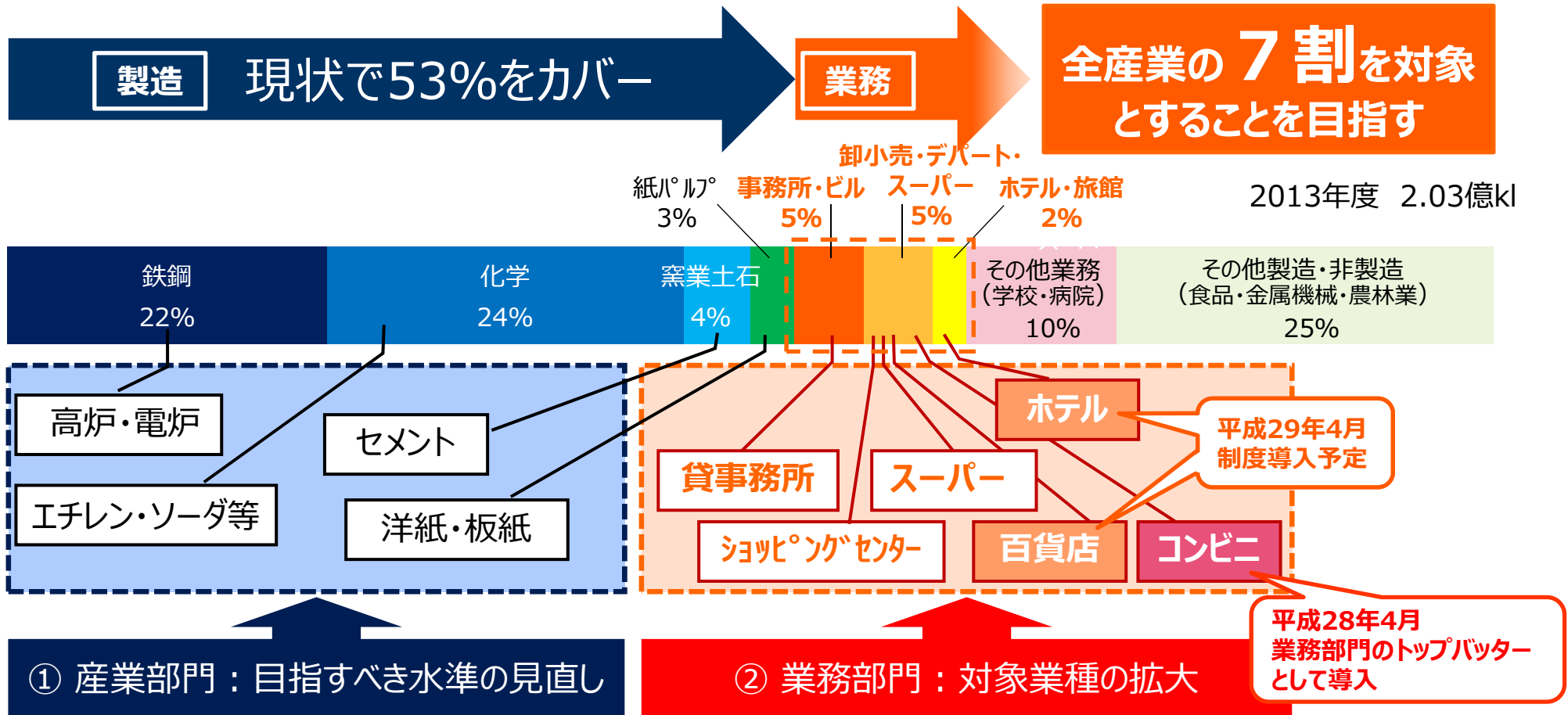
平成28年4月：**コンビニエンスストア業のベンチマーク制度施行**
※業務部門のトップバッターとして導入

未来投資に向けた官民対話 (第3回 平成27年11月26日)



総理発言抜粋

製造業向けの産業トップランナー制度を、本年度（平成27年度）中に流通・サービス業（業務部門）へ拡大し、**3年以内（平成30年度中）に全産業のエネルギー消費の7割に拡大いたします。**



【出所】(一財) 日本エネルギー経済研究所「エネルギー・経済統計要覧2015」

① 産業部門におけるベンチマーク制度の見直し（平成27年度）

- 平成27年度の工場等判断基準WGにおいて目指すべき水準の見直しを審議。
- **セメント製造業、洋紙製造業、ソーダ工業**は、新しい水準への見直しを実施。

業種	項目	H21	H22	H23	H24	H25	5年度合計	水準	業種	項目	H21	H22	H23	H24	H25	5年度合計	水準
(1A) 高炉による製鉄業	報告者数	6	6	5	4	3	24	0.562以下	(4A) 洋紙製造業	報告者数	18	19	21	20	78	6,626以下	
	今回 達成者数	1	1	1	0	0	3			達成者数	2	3	3	3	11		
	達成率	16.7%	16.7%	20.0%	0.0%	0.0%	12.5%			達成率	11.1%	15.8%	14.3%	15.0%	14.1%		
	現 達成者数	0	1	0	0	0	1			達成者数	4	4	5	4	17		
達成率	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	4.2%	0.531以下	達成率	22.2%	21.1%	23.8%	20.0%	21.8%	8,532以下			
(1B) 電炉による普通鋼製造業	報告者数	38	39	35	35	32	179	0.147以下	(4B) 板紙製造業	報告者数	28	31	30	31	120	5,311以下	
	今回 達成者数	5	5	4	5	7	26			達成者数	3	5	5	5	18		
	達成率	13.2%	12.8%	11.4%	14.3%	21.9%	14.5%			達成率	10.7%	16.1%	16.7%	16.1%	15.0%		
	現 達成者数	4	4	3	3	5	19			達成者数	3	4	4	5	16		
報告者数	10.5%	10.3%	8.6%	8.6%	15.6%	10.6%	0.143以下	達成率	10.7%	12.9%	13.3%	16.1%	13.3%	4,944以下			
(1C) 電炉による特殊鋼製造業	報告者数	16	17	18	18	19	88	0.35以下	(5) 石油精製業	報告者数	14	14	13	13	54	0.864以下	
	今回 達成者数	2	2	3	2	4	13			達成者数	2	1	2	3	8		
	達成率	12.5%	11.8%	16.7%	11.1%	21.1%	14.8%			達成率	14.3%	7.1%	15.4%	25.0%	14.8%		
	現 達成者数	2	3	4	3	5	17			達成者数	2	1	2	4	9		
達成率	12.5%	17.6%	22.2%	16.7%	26.3%	19.3%	0.36以下	達成率	14.3%	7.1%	15.4%	30.8%	16.7%	0.876以下			
(3) セメント製造業	報告者数	17	18	17	17	17	86	3,739以下	(6A) 石油化学系基礎製品製造業	報告者数	9	10	10	10	39	12.0以下	
	今回 達成者数	1	2	3	3	4	13			達成者数	3	1	1	2	7		
	達成率	5.9%	11.1%	17.6%	17.6%	23.5%	15.1%			達成率	33.3%	10.0%	10.0%	20.0%	17.9%		
	現 達成者数	3	4	4	5	5	21			達成者数	1	1	1	1	4		
達成率	17.6%	22.2%	23.5%	29.4%	29.4%	24.4%	3,891以下	達成率	11.1%	10.0%	10.0%	10.0%	10.3%	11.9以下			
(6B) ソーダ工業	報告者数	19	21	22	22	84	3.22以下	(6B) ソーダ工業	報告者数	19	21	22	22	84	3.45以下		
	今回 達成者数	4	2	3	3	12			達成者数	4	2	3	3	12			
	達成率	21.1%	9.5%	13.6%	13.6%	14.3%			達成率	21.1%	9.5%	13.6%	13.6%	14.3%			
	現 達成者数	8	8	8	8	32			達成者数	8	8	8	8	32			
達成率	42.1%	38.1%	36.4%	36.4%	38.1%	3.45以下	達成率	42.1%	38.1%	36.4%	36.4%	38.1%					

- 5年度平均達成率20%以下
- 5年度平均達成率20%超え ⇒ **新しい水準へ見直し**

② 業務部門におけるベンチマーク制度の対象業種の拡大（平成28年度）

ホテル業

■ ベンチマーク指標

エネルギー使用量の**実績値** (GJ)

重回帰式より算出した
エネルギー使用量の**予測値** (GJ)

(1)規模要因			(2)サービス要因		(3)稼働要因	
宿泊・共用 部門面積 (㎡)	食堂・宴会 場面積 (㎡)	屋内駐車場 面積 (㎡)	収容 人数 (人)	従業員 数 (人)	宿泊客 数 (人/年)	飲食・宴会 利用客数 (人/年)
×	×	×	×	×	×	×
2.238	6.060	0.831	-48.241	32.745	0.152	0.030

■ 目指すべき水準

目指すべき 水準	サンプル 事業者数	達成 事業者数	達成率
0.723	188	28	14.9%

百貨店業

■ ベンチマーク指標

エネルギー使用量の**実績値** (kl)

重回帰式より算出した
エネルギー使用量の**予測値** (kl)

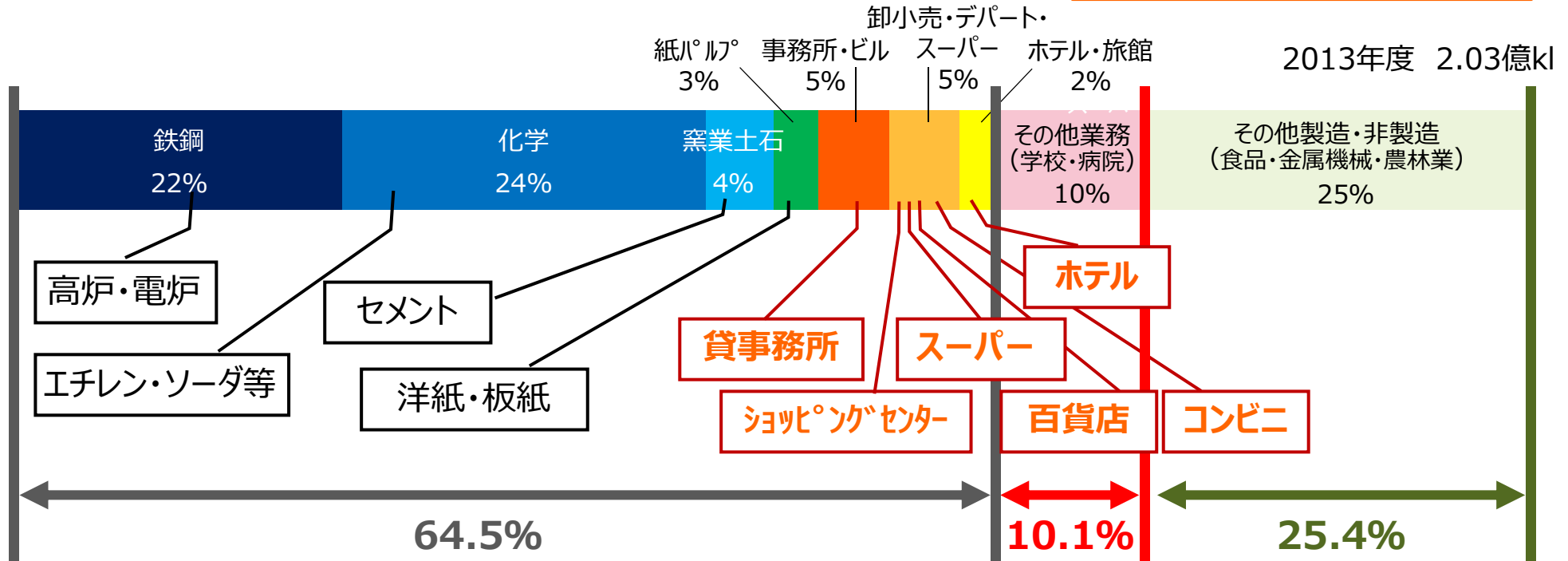
(1)規模要因	(2)稼働要因
延床面積 (㎡)	売上高 (百万円)
×	×
0.0531	0.0256

■ 目指すべき水準

目指すべき 水準	サンプル 事業者数	達成 事業者数	達成率
0.792	59	9	15.3%

今後のベンチマーク制度の対象業種拡大に向けて

全産業の **7割** を対象
とすることを目指す



- 産業部門 6 業種 10 分野 (53%)
- 業務部門 6 業種へ対象拡大 (11.5%)
 - ・ 平成28年4月開始：コンビニ
 - ・ 平成29年4月予定：ホテル、百貨店
 - ・ 検討業種：食料品スーパー、貸事務所、ショッピングセンター

- ・ 飲食店 : 1.8%
- ・ 学校 : 1.8%
- ・ 病院 : 2.4%
- ・ 娯楽場^{※1} : 0.7%
- ※1 劇場・映画館、ホール、市民会館 等
- ・ その他^{※2} : 3.5%
- ※2 福祉施設、図書館、博物館 等

- ・ 農林水産業 : 2.4%
- ・ 鉱業 : 0.2%
- ・ 建設業 : 1.2%
- ・ 食品煙草 : 2.9%
- ・ 繊維 : 1.0%
- ・ 非金属 : 1.5%
- ・ 金属機械 : 4.9%
- ・ その他 : 11.2%